

## 大雨に強いまちに なったと思います

登別は、毎年のように夏から初秋にかけて、何度も大雨警報が出ます。これまで、何度、大雨災害に見舞われたことでしょうか。

今も昔と変わらずたくさん雨が降りますが、それでも不安な気持ちで雨空を眺めることが、随分と少なくなつたような気がします。

この何年かでも床下浸水や土砂崩れがあるようですが、新聞紙上を騒がすような大雨災害はなくなつたようです。

きつと、河川の改修や排水設備などの整備が進んだためでしょう。

時代を先取りしたような事業がわたくしたちの目を引くのでしょうか、こうした目立たなくても大切なことを、今後もしっかりと進めてほしいものです。  
(片倉町・男性)

## 自然を求めている人びとが、 自然を壊している

今年の夏は、家族サービスをしようとして、子どもたちを連れ、道内各地をキャンピングハイキングして回ってきました。

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進課へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話しはご遠慮ください。

### 情報推進課

☎(85)6586

FAX(85)1108

Eメール:pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町6-11

市内の鉢山町でも、木洩れ日の降り注ぐ林道を子どもたちと歩いたり、川で水遊びをしたりしました。

子どもには、きつと楽しい夏休みになつたことと思います。

そんな中で気になつたことが、ひとつあります。それは、美しい自然の中に投げ捨てられたごみのこと。

買った物袋やジュースの缶、ペットボトルがあちこちで目に付きました。子どもと一緒に少し拾ってみました。が、すぐに袋はいっぱいに。

きつと、みなさん、自然を求めてやって来たはず。それなのに…

子どもと過ごした夏の思い出にも、少しごみが散らかっているようで、ちよつと残念です。  
(二市民)

## 花と緑がいっぱいのまちを わたしの ガーデニング



### 来年もきれいな 花を咲かせるために

なりたじゅんこ  
成田順子さん  
若草町2丁目30-9

美しい花が庭を飾るチューリップやヒヤシンス、スイセンなどの球根類。しかし、球根を土の中に埋めたままでは、毎年安定して花を咲かせることは期待できません。

「球根にはちゃんとしたお世話が必要ですね」と成田さん。

成田さんは、花が咲き終えると、球根に栄養を加え成長を促すため、液肥を少しずつ与えます。葉が黄色くなったころ土から掘り上げ、1週間ほど日なたで干して葉を切り取ってから、家の中の乾燥した場所に種類・色別に保管します。

「10月末から球根を植え始めます。普通春に植えるグラジオラスは、花の少ない秋に咲かせるため、7月下旬に植えているんですよ。」

秋の深まりとともに、成田さんは、手入れをした球根類の植付けを始めます。



## あすなろ

あべひさと  
阿部寿人さん(24歳)

コープクレア・アーニス店勤務

自分で注文した商品が飛ぶように売れたときはうれしいですね

「自分で注文した商品が飛ぶように売れ、完売したときには、やった一つて思いますね」と笑顔で話す阿部さんは、コープクレア・アーニス店に勤務して5年目。今では客からの信頼も厚く、商品に関する相談を受けたり「このあいだ買った『たくあん』とてもおいしかったよ」などとたびたび声を掛けられます。

「最近、商品の賞味期限が厳しく設けられていますが、いつも安全で新鮮な商品を提供するように心掛けています。できればお客様に季節を感じてもらえる陳列をしたいですね」と商品構成の気配りも忘れません。

「一生懸命経験を積み、将来はもっと高い地位で仕事をしたい」と意欲を燃やしています。

